

講義名	対)企業倫理論		
担当教員	李 東浩		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	2
備考			

<p>主題と概要</p> <p>本授業は真正正統の双方向・多方向的な授業である 本授業は独自開発した「ファイブ・モジュール」考える学習型授業教育法を実施する 本授業の実施方法の詳細については、https://ryuka.repo.nii.ac.jp/「高等教育推進センター紀要 第2号」以下の論文を参照してください(全文無料ダウンロード可)。 李東浩(2017)「学生の心を揺るぎ生きた教育「教学双方の意識転換によるアクティブラーニング」」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第2号 pp. 75-104 (30頁)</p> <p>ちなみに、本ゼミの実施方法の詳細について、以上同様に、第3号以下の論文を参照してください。 李東浩(2018)「学部ゼミ運営に関する一提案「楽しく頑張る」から「ひとつづくり」」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第3号 pp. 1-19 (19頁)</p> <p>単位だけ欲しがる学生、自信のない学生は履修を勧めない 真面目な学生・本気に勉強の意欲がある学生は強く勧める 毎回、面白いビデオがある 毎回、面白いリスボン問題回答がある 毎回、討論時間と発言時間がある。真正正統の双方向・多方向的な授業 先生だけからの学びではなく、学生同士が互いに勉強できる革新的な学びの仕組み</p> <p>企業倫理をはじめ、コーポレート・ガバナンス(企業統治)、コンプライアンス(法令順守)、CSR(会社の社会的責任)、内部統制などの問題を中心に進める。不祥事の抑止、経営の健全性を確保することともに、近年、執行役員制度・社外取締役/監査役の導入など経営の効率性を促進する試みも自国で盛んに展開されている。本講義では、理論の発展と共に、企業倫理観のよい例と良くない例について具体的なケースを触れながら解説する。</p>

<p>到達目標</p> <p>「効率性」「営利性」など企業の利益追求活動と「人間性」「社会性」など企業倫理的な視点から総合的に企業倫理観を養成する。 学生は、本講義を学修することによって得られた企業倫理の理論とケースの知識と能力を身につけ、正しい倫理観を形成できる。</p> <p>(1) 知識・能力・資格を身につける。 本講義を通じて、企業や組織の目的と目標そのもの目指すべき方向性を規定する企業倫理の基礎知識、能力と資格を学修、習得して身につける。企業倫理をはじめ、コーポレート・ガバナンス(企業統治)、コンプライアンス(法令順守)、CSR(会社の社会的責任)、内部統制などの問題を中心に進め、企業不祥事の抑止、経営の健全性と効率性の向上を理解できるようにする。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を向上させる。 論理的に基本的な概念・理論と方法を学ぶだけでなく、毎回の授業に実際の企業の実例をも採り上げ、ビデオをも活用しながら、理論と実態とをバランスよく理解できる。ただ単に授業内容をビデオを聞く・見るだけではなく、考えて、判断、討論、発言、考え直し、まどと、といった一連の仕組みで毎回、知識と能力が身につけることを実感できるようにする。</p> <p>(3) 主体的な学習態度を養成する。 履修生は、能動的で主体的に知識を吸収、理解、習得、運用する能力を養成できるようにする。 日々や今後の就職先で企業経営に就いたり、企業経営に関する問題記事を読んだりする際には、企業倫理分析の視点から課題発見と課題解決を行い、単なる「効率性」「営利性」など企業の利益追求の視点だけではなく、「人間性」「社会性」など企業倫理的な視点からも正しい企業倫理観を養成できるようにする。</p>
--

<p>提出課題</p> <p>1. 各自事前に、レスポ、ポータル、アプリなどの使用方法等を熟知・理解し、毎回課題を提出できるように準備してください。</p> <p>2. 毎回、レスポで課題の指示があるので、指示に従い、〆切期間中に真面目に提出をしてください。</p> <p>3. 毎回の提出物に基づき、出欠と単位・成績を取りますので、毎回出席・勉強・提出を心がけてください。</p>
--

<p>課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック</p> <p>1. 毎回、前回課題へのフィードバックや振り返りを解説する。優れた提出内容等を、マーカーや色付けで強調して表彰する。モチベーションアップにつながるだろう。</p> <p>2. 毎回、全体的な状況や一部代表的な課題を見本として提示して、双方向・多方向的考える学習型授業の醍醐味を理解して、お互いに勉強しましょう。</p> <p>3. 毎回、自分の学習成果のチェックだけでなく、他人の意見や考え、先生のコメント・説明をも確認でき、POCAのスパイラルアップ過程を通じて、毎回自分のやる気にもつながり、自己成長を実感できる。</p>
--

<p>評価の基準</p> <p>1. 平日出席と提出課題及び、期末試験、の質・量で総合的に評価する。</p> <p>2. の平常出席と課題が55%ウェイト、の期末試験が45%ウェイトに占める。期末試験不提出の場合、直接不合格になる。</p> <p>3. の期末試験はオンデマンド型のレスポで提出になる。期末試験の前身である、内容・要領・期間・時間等については、大学の期末試験期間中(第16週)にポータルに提示する。ネット等の不具合対策を意識したうえ、余裕をもって、〆切まで期間中に提出していただきたい。 念のため、期末試験そのものの通知は、第11週から期末試験終わりまでポータルにも提示する。</p> <p>4. この授業は、毎回レスポで出欠確認・成績評価・採点のシステムを進める。 そのため、一回出席であっても、当該分の成績がなくなる。 よって、毎回、授業出席・課題提出、加えて期末試験課題提出を、きちんと自己管理してください。</p>

<p>履修にあたっての注意・助言他</p> <p>コロナ対策として、対面クラスとオンデマンドクラスの同時開講をする。以下の措置を講じる。 この授業は毎週木曜日4限なので、毎週以下のスケジュールで進める。</p> <p>毎週学生の課題提出期間： 対面授業クラス：木・日の3日間。 オンデマンドクラス：金・日の2日間。</p> <p>毎週先生のフィードバック準備期間：日・水の3日間。</p> <p>先輩からの以下の意見を是非参考してください。 1. 「五割に当たる前期的な授業」： 先業内容、効率的な進め方で知識と能力を身につけられる！ 2. 「この授業を1つの企業とすると、CEOに李先生で社員が私たち生徒だとすると、社員に意見する場を与えて、それを共有し、すくく実行する。優良企業だと思えます。モチベーションがとて高く維持できています」 3. 「1課目生だがつと早くこの授業に出会いたかった」： 知識そのものだけではなく、知識を獲得する姿勢と方法を学べる！ 4. 「単位を取ることはとても大切ですが、この授業では、それだけのための授業ではないと私は、強く思います」</p>

<p>教科書</p> <p>.使用しない。</p>

<p>プリント資料及び参考文献</p> <p>1. レジメ(=プリント)等資料は必ず各自事前に RYUKA Portal からダウンロードと印刷して教室まで持ってきてください。早めにダウンロードを済ませてください。 2. 授業はPPTとレジメ・資料、映像、討論で進む。レジメには穴埋めが相当設けられ、PPTと確認しながら記入してもらおう。 3. 参考文献：「トップ・マネジメントの経営倫理」白根書房 2008。『経営倫理』同文館出版 2003年。『国商 コンプライアンス経営』東洋経済新報社 2006年。他 授業中随時紹介。</p>

<p>授業計画</p> <p>コロナ対策として、対面クラスとオンデマンドクラスの同時開講をする。以下の措置を講じる。 この授業は毎週木曜日4限なので、毎週以下のスケジュールで進める。</p> <p>1. 水曜日 14時40分までに、ポータルに連絡通知とプリント資料等提示(対面授業クラスの1日前時点)。 2. 木曜日 14時40分4限に、対面授業開始(対面クラス課題提出開始) 3. 金曜日 14時40分までに、オンデマンドクラスへ配信開始(対面授業クラス1日後時点) 4. 日曜日 14時40分までに、オンデマンドクラスと対面授業クラスの課題回収・課題評価開始(対面授業クラス3日後時点・オンデマンドクラス2日後時点) 5. 水曜日 14時40分までに、次回ポータルに連絡通知とプリント資料等提示(対面授業クラスの1日前時点)。</p>

<p>授業計画。注。()内はビデオ内容。</p> <p>1 イントロダクション：講義の概要と進め方(公平とは何か) 2 経営者倫理観に関する調査その1(大嘗後のジェネレーションは正當なのか) 3 経営者倫理観に関する調査その2(3人対1人の殺人は正當なのか) 4 企業倫理と不祥事：豊田自動車事件その1(あなたの死傷の責任：路面電車) 5 企業倫理と不祥事：豊田自動車事件その2(5000人の白粉教室：市の命名権他) 6 企業倫理と不祥事：エンロン事件その1(巨大企業エンロン、如何に崩壊したのか 上篇) 7 (企業倫理と不祥事：エンロン事件その2(巨大企業エンロン、いかに崩壊したのか 下篇) 8 企業倫理のよい例：トヨタ・キヤノン(トヨタの求職公聴会2つ) 9 経営原理と経営モデルその1(モダグ・タイムズ) 10 経営原理と経営モデルその2(5000人の白粉教室：ダフ屋と大学寄付) 11 企業倫理の萌芽と発展(ムード大卒白粉教室：功利主義の功罪 前編) 12 不祥事と企業統治：導入(効用の質：高級と低級の喜び? 前編) 13 現代企業の存在意義：企業統治と企業倫理その1(効用の質：高級と低級の喜び? 後編) 14 現代企業の存在意義：企業統治と企業倫理その2(正義と権利：課税に正義はあるか? 前編) 15 大学の倫理(イェール大学)</p>
--

<p>授業形態(アクティブ・ラーニング)</p> <p>ア：PBL(課題解決型学習)</p> <p>イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)</p> <p>ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p>エ：グループワーク</p> <p>オ：プレゼンテーション</p> <p>カ：実演、フィールドワーク</p> <p>キ：その他(A型でもあるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)</p>

<p>準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間</p> <p>毎回、「知識は力になる」こと、を実感できる。 毎回、「能力を蓄積する」こと、を実感できる。</p> <p>だから、他のたぐさんの授業のように、期末だけで猛勉強による一発勝負することはない(人生も同じような状況だろう！つまり人生も基本的に一発勝負ではなく、長年平日の積み重ねる努力こそ大事！)。 恐らくこの授業は、あなたの心に永遠に残る大学授業の一つである(授業が終わっても長く長くまで鮮明に覚えるかもしれない)。 興味と余力があれば、授業の指し示する参考文献をも読んでほしい。</p> <p>1. 毎回事前に、ポータルの連絡通知にプリント資料とともに次の予習や復習の課題を指示する。</p> <p>2. 毎回の予習時間は、授業時間(90分=2時間相当)の2時間くらいにしてください。 毎回の復習時間も、2時間くらいにしてください。</p>
--

<p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</p> <p>1. 企業や組織の運営仕組みを自ら主体的な立場からの確に理解できる。</p> <p>2. 身につけた知識・能力・資格等を生かして、組織メンバーと外部関係者とも協力的に働きかける。</p> <p>3. 正しい企業倫理観に基づき、不祥事を無くし、時代の要請に応え、健全で効率よく企業経営を達成するために積極的に参画する。</p>
--

<p>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</p> <p>講義を聞くだけでなく、考えてグループワークで喋ったり、発言をする。 映像を見るだけではなく、メモしたり分析して、レスポに回答を出し、発言をする。</p> <p>1. 対面授業では、質問やクイズなどをやる場合もあるので、積極的に考えて、発言してみてください。</p> <p>2. オンデマンド型授業では、他人の発言を見て、自分も発言できるように授業に臨んでください。</p> <p>3. 先進的なレスポなどのシステムを駆使し、リアルタイムで他人の課題結果をグラフなどで確認でき、授業の効率と学習意欲の向上に繋がる。</p>

<p>実務経験の有無及び活用</p> <p>なし。</p>

<p>備考</p> <p>学生による評判が高い本授業は以下の特徴があるので、真面目な心構えがあれば是非一度体験してみてください。 通り手早い授業(そうか！これこそは大学らしい授業だ！)。 静かで授業できる環境(私語禁止ではない！)。 退屈ではない(退屈の時間さえもない！)。 みんな一緒に互いに勉強する(自力・他力、皆の力を感じる！)。</p>
